

■ SDGsへの取り組み (<http://www.fujitsu.com/jp/about/csr/vision/sdgs/>)

持続可能な世界の実現に向けた2030年までの国際目標であるSDGsの達成には、民間企業の技術やイノベーション力を積極的に役立てていく必要があります。

富士通グループは、かねてより「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」の実現を目指して技術を活用した新たなイノベーションを創造しており、我々の活動と国際社会がSDGs達成に取り組む方向性は一致していると認識しています。

そこで、SDGsへの取り組みを他組織との幅広い協働の機会と捉え、より大きな規模での社会価値の創造を図ります。また、国際社会共通の目標と富士通が果たすべき役割を重ね合わせて考えることで、自らの経営やビジネスを柔軟に変容していきます。このように、社会からの期待と要請に応じて自らを見つめ直し、持続的に成長していくための経営戦略のツールとして、SDGsを積極的に活用していきます。



■ CSR基本方針 (<http://www.fujitsu.com/jp/about/csr/vision/policy/>)

富士通グループのCSRは「FUJITSU Way」の実践です。全ての事業活動においてマルチステークホルダーの期待と要請を踏まえ「FUJITSU Way」を実践することにより、地球と社会の持続可能な発展への貢献を目指しています。その具体的な実践にあたっては2010年にCSR基本方針「5つの重要課題」を定めて活動を推進してきましたが、SDGsや海外を含めたCSRマネジメントをより一層充実させるべくグループ横断で重要課題の見直しに取り組んでおり、2019年度より新たに運用を始める予定です。

■ 環境活動 (<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/>)

富士通グループはパリ協定の達成に向け、自らのCO₂ゼロエミッション達成と脱炭素社会実現、気候変動対策への適応に貢献する2050年までの中長期環境ビジョン「FUJITSU Climate and Energy Vision」を策定しています。そのCO₂排出削減シナリオは、「Science Based Target」(注1)に科学的根拠のある目標として承認されており、2018年7月には再生可能エネルギーの世界規模での普及拡大を目指す「RE100」(注2)に日本初のゴールドメンバーとして加盟しました。

また、2016-2018年度の環境目標「第8期富士通グループ環境行動計画」を策定し、「社会への貢献」と「自らの事業活動」の2軸で目標を定め、お客様や社会へのより一層の貢献に取り組んでいます。

注1) Science Based Targets (SBT)：産業革命時期比の気温上昇を2℃未満にするために、企業が気候科学に基づく削減シナリオと整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ。

注2) RE100：事業で使用する電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目標とする企業が加盟するイニシアチブ。



■ ESGに関する主な受賞および外部評価 (<http://www.fujitsu.com/jp/about/csr/vision/sri/>)

2017年度の主な受賞および外部評価

- ・ Dow Jones Sustainability Indices (World)
- ・ CDP (Climate, Water) A リスト
- ・ FTSE4Good Index Series
- ・ FTES Blossom Japan Index
- ・ 第21回環境コミュニケーション大賞「環境報告書部門 地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞）」
- ・ 平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（技術開発・製品化部門）

